

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	S n u g g l e U P			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 10日		～	令和7年 3月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	6人
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 10日		～	令和7年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2人	(回答者数)	2人
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 1月 10日		～	令和年 3月 26日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	5施設	(回答数)	3施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	心理師が訪問員として関係機関に訪問しているので、発達検査の結果をもとに所属先の様子を観察でき、必要に応じてフィードバックができること。 保護者の思いを所属先に伝えることができること。	意識的に訪問をしない日でも電話などで関係機関と情報共有を行うようにしている。 事業所での様子や支援の方法をシートにまとめて提出することもある。	心理師が訪問支援を行うことの強みもあるが、一方で多角的な視点でみるのが難しい側面もあるので、多職種も訪問員として参加できるとなおよい。
2			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	所属先での様子がわからないので、訪問をしてほしいというニーズは多くいただいているが、訪問支援のみを行っているわけではないため、希望に添えないことがある。	訪問員が少ないので、調整できる日数が少ないこと。 放デイの方の人員も確保しないといけないので、午前中のみ訪問になることでより、調整日数が少ないことも考えられる。	訪問員を増やす。
2			